

様式3

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和5年度第2回相模原市文化財保護審議会		
事務局 (担当課)	文化財保護課 電話042-769-8371 (直通)		
開催日時	令和5年11月8日(水) 10時00分～11時30分		
開催場所	相模原市立博物館 小会議室		
出席者	委員	7人(別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	6人(生涯学習部長 他5人)	
公開の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input checked="" type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合、その理由	相模原市情報公開条例第7条第1号及び第3号に該当する非公開情報に関して審議するため。		
議 題	(1) 相模原市指定文化財の指定に係る諮問について (2) 相模原市文化財保存地域計画について (3) その他		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり

議題 1 相模原市指定文化財の指定に係る諮問について

- ・相模原市情報公開条例第7条第1号及び第3号に該当する情報を審議する為、議題1について非公開とすることを決定した。
- ・文化財指定の諮問をした文化財2点について、実見しながら事務局が説明を行い、その後に質疑応答が行われた。
- ・上記2点については、令和6年2月ごろに開催を予定している第3回文化財保護審議会にて答申案を審議いただくこととなった。

議題 2 相模原市文化財保存地域計画について

- ・文化財保存活用地域計画の概要や相模原市文化財保存活用地域計画の骨子（案）事務局から説明を行った後、質疑応答を行った。

（浜田委員より）伊勢原市では文化財に関する人材育成の取組を具体的に上げている。「持続性」を考えると相模原市では人材育成が一番の課題点となると思うので考えていくべきである。

→（山本委員）自分の身近に文化財があることを知らない人がいるが、小さいときはなかなか目がいけない。文化財に触れる機会が多い方がよい。例えば小学校の時から課外授業で触れる機会を多くすると中には「いいな」と思ってもらえる人が出てくると思う。

→（事務局）様々な団体や文化財ボランティア等多くの人に関わるような仕組みづくりが必要だと考えている。人材育成でも人づくりの部分が非常に重要である。学校との連携については文化庁からも同様の指導がされている。文化財保護課が事務局を行っている民俗芸能保存協会ではヒアリングを行った結果、後継者不足とコロナ禍の活動休止で継承が厳しい状況だと聞いている。人と学校教育をうまく橋渡しできるような取り組みも地域計画の中に入れ込めればと考えている。

（山田委員より）平成18年の相模原市合併後、津久井地域は地域内での関わりが合併以前と比べて薄くなったと感じている。学校へ人を派遣することもあると思うが、昔から地域に住んでいる詳しい方も活用していくべき。地元で密着した事業も行ってほしい。

→（事務局）資料の中にはないが、相模原市は公民館活動が活発で事業を見てみると様々な歴史や文化財にまつわる事業を各公民館で行っている。また、各地域のまちづくりセンターでは地域の方々に対して交付金制度を持っており、地域によっては文化財を活かし地域で文化財を巡る事業を行ったり、地域で文化財の看板を作る

活動も行っているので、そういったものも計画の中で拾っていく必要はあると考える。

(海老澤委員より) 第5章にある「さがみはらどこでも博物館」について教えてほしい。

→ (事務局) 相模原市立博物館が主体となって取り組んでいるもので、相模原市には博物館以外にもそれぞれの場所に資料館などの博物館機能を持っている場所がある。そういったものを1つネットワークをつくることや、博物館では地域の方から依頼を受けて、「どこでも博物館」として学芸員を派遣して地域で講習会を行ったりしている。

→ (海老澤委員) 特に若い世代はバーチャルやAI等感覚がほかの世代と違うように感じる。相模原市の計画の目次を見てもそういったものが見当たらないのでこのデジタル化が他の自治体より遅れている気がしている。国会図書館でもデジタル化しているところからアクセスできるようになっている。デジタルの世界をつなげるような面も盛り込んでもらえると良いと思う。

→ (事務局) 活用の中で大きな課題だと認識しているので、課題として取り込んでいきたい。相模原市は市全体でデジタルアーカイブに取り掛かっているところである。気軽に地域の文化財や博物館資料が見れる環境づくりを進めているのでこういったところも盛り込めればと考えている。

→ (浜田委員) 今年改正された博物館法でも博物館のDX化を大きくうたっており、文化庁が予算を出すと思う。お金がかかるので難しいと思うが、これを活用するのも良いと思う。

→ (山本委員) 若い人は出かかず、インターネット上で見るが増えている。お金はかかるがスマホの中で見えるということも大切であるので是非盛り込んでほしい。

→ (内川委員) 市独自のサーバーにデジタル化したものを入れていくのか。

→ (事務局) 市の独自ではなく、委託先のサーバーに入れていく。

→ (浜田委員) まだ全国的に載せる状況ではないということか。

→ (事務局) これから補助金を取ったりしていくのでこれからという状況である。

(浜田委員より) 旧相模原市域は近代化遺産についての調査がまだ不十分だと感じる。今回の地域計画を策定するにあたり、市として近現代の文化遺産をどのように保存するか考えてもらおうと良いと思う。

→ (事務局) 文化財の把握ができていない部分を課題として出し、今後こういったところを重点的に調査をし、保存をしていくのかについては計画の中に入れていく。また地域差もあるので整理する必要があると考えている。

→（山田委員）津久井地域ではまだまだ文化財に係るものがあるように感じるので再度洗い出しは必要だと思う。

→（事務局）市史や町史の中で悉皆的な調査が行われていたところもあるが、町によっては不十分なところもある。また、今回の指定候補の様に個人所蔵のものがあると思うのでまずは把握調査を行うのが大切だと考えているので課題としたい。

議題3 その他（指定・登録文化財の現状変更）

①国指定天然記念物オカヤドカリの個体移動・飼育

②市登録有形民俗文化財小倉宮原の徳本念仏塔の移動

以上2点について報告を事務局から行った。

このほか協議事項はなし。

以 上

相模原市文化財保護審議会委員出欠席名簿

(令和5年11月7日開催)

No.	氏名	所属等	出欠席	備考
1	薄井 和男	中世美術史（彫刻） 元神奈川県立歴史博物館館長	出席	
2	内川 隆志	日本考古学 國學院大學教授	出席	副会長
3	海老澤 模奈人	建築史（近代建築史） 東京工芸大学教授	出席	
4	大崎 綾子	日本刺繍史、染織文化財（保存修復） 女子美術大学准教授	出席	
5	鹿野 陽子	造園学（景観） 岐阜県立国際園芸アカデミー客員教授	欠席	
6	神崎 直美	日本近世史 城西大学教授	欠席	
7	萩谷 宏	地球科学（地質学・岩石学・地球史） 東京都市大学理工学部自然科学科・准教授	欠席	
8	浜田 弘明	人文地理学 桜美林大学教授	出席	
9	宮本 太	植物分類・生態学 大学院専攻主任 東京農業大学農学部生物資源学科	欠席	
10	山崎 祐子	民俗学 一般財団法人宮本記念財団理事	欠席	
11	山田 正法	郷土史 元相模湖町文化財保護委員	出席	
12	山本 雅子	発生学、解剖学（動物） 麻布大学名誉教授	出席	会長

任期は令和4年10月1日から令和6年9月30日まで